

インフォシス、NVIDIA NIM をベースとした高性能生成 AI 搭載の通信事業者向けソリューションを発表

最先端の AI 主導型ソリューションで通信事業者を強化、Infosys Topaz と NVIDIA NIM を活用

インド、ベンガルール - 2024 年 8 月 29 日 : 次世代デジタルサービスとコンサルティングの世界的リーダーである [インフォシス](#) (NSE、BSE、NYSE : INFY) は本日、通信事業者のイノベーションとオペレーショナル・エクセレンスを推進する AI を活用した顧客中心型ソリューションについて、[エヌビディア](#)との協業を拡大すると発表しました。ジェネレーティブ AI 技術を活用した AI ファーストのサービス、ソリューション、プラットフォーム群である [Infosys Topaz](#) を活用するこの協業は、通信事業者の顧客体験の向上、ネットワーク運用の合理化、サービス提供の迅速化を支援します。

Infosys は、[NVIDIA NIM](#) 推論マイクロサービス、[NVIDIA NeMo Retriever](#) エンベディングモデル、および [NVIDIA NeMo Guardrails](#) を使用して、生成的 AI 通信事業ドメイン固有の LLM モデルをカスタマイズして展開する Infosys Topaz を搭載した 3 つのジェネレーティブ AI ソリューションを開発しました。Infosys Topaz は [NVIDIA Riva](#) も使用しており、コールセンターエージェントのリアルタイム文字起こしや翻訳を可能にするリアルタイム会話 AI パイプラインを構築しています。

- TOSCA ネットワークサービスデザインは、NVIDIA のジェネレーティブ AI を活用し、TOSCA (Topology and Orchestration Specification for Cloud Applications) テンプレートの作成とカスタマイズを行います。このソリューションは、ネットワークサービス設計プロセスを合理化します。NVIDIA NIM と NeMo Retriever マイクロサービスを使用することで、待ち時間が 28% 短縮され、精度の絶対値が 15% 向上しました。詳細については、[こちら](#)をご覧ください。
- NVIDIA のジェネレーティブ AI を搭載したスマートネットワーキングオペレーティングセンターにより、ネットワークエンジニアとネットワーク運用担当者は、問題をより迅速かつ正確にトラブルシューティングできるようになります。NVIDIA NIM と NeMo Retriever により、このソリューションはネットワークの問題を解決する平均時間を短縮し、顧客体験を向上させ、その結果、待ち時間が 61% 短縮され、精度が 22% 絶対的に向上します。詳しくは [こちら](#)をご覧ください。
- [Infosys Cortex](#) - ジェネレーティブ AI によるコンタクトセンター変革プラットフォーム。Infosys Cortex は、Infosys Topaz と Infosys のクラウドソリューション [Infosys Cobalt](#) を活用して、リアルな顧客シミュレーションを作成します。

これらのソリューションは、エンドツーエンドの生成 AI パイプラインと推論コストを最適化することで、運用効率と生産性の向上、コンタクトセンターのエージェントトレーニングの全体的な体験の向上という点で、顧客に多大な利益をもたらすことができます。

Infosys の EVP 兼グローバル・インダストリー・リーダー（通信・メディア・テクノロジー担当）のアナンド・スワミナサン

は、「エヌビディアとの協業を通じて、最先端のエンタープライズ AI 機能を開放し、グローバル企業のビジネス効率向上を支援する態勢が整いました。エヌビディアの高度な AI 技術を Infosys Topaz に統合することで、ネットワークサービス設計、NOC 業務、コンタクトセンターの機能性を変革することを目指しています。また、AI の安全で責任ある展開を確保することにもつながります。このコラボレーションは、顧客のためにイノベーションとオペレーショナル・エクセレンスを推進するという我々のコミットメント事例を示しています」と述べています。

NVIDIA のテレコム担当上級副社長であるロー・バシシュタ氏は、「通信事業者は、よりスマートなネットワーク、より効率的なオペレーション、顧客サービスの強化によって事業の生産性を向上させるため、ジェネレーティブ AI ソリューションの採用を増やしています。NVIDIA のフルスタック・アクセラレーション・コンピューティングと AI プラットフォームを活用することで、Infosys Topaz は、通信事業者がジェネレーティブ AI の採用を加速し、合理化するのに役立つ、ドメインに特化したソリューション群を提供します」と述べています。

Infosys について

Infosys は次世代デジタル・サービスとコンサルティングのグローバル・リーダーです。30 万人を超える社員が、人間の可能性を増幅させ、人々、企業、地域社会に次の機会を創出するために働いています。Infosys は、56 カ国以上のお客様のデジタルトランスフォーメーションを支援しています。40 年以上にわたってグローバル企業のシステムと業務を管理してきた経験を生かし、クラウドと AI を活用したデジタルトランスフォーメーションを推進するクライアントの舵取りを専門的にを行います。私たちは、AI ファーストのコアでクライアントを支援し、アジャイル・デジタル・アット・スケールでビジネスを強化し、イノベーション・エコシステムからのデジタル・スキル、専門知識、アイデアの移転を通じて、常時オン・ラーニングで継続的な改善を推進します。私たちは、多様な才能が包括的な職場で活躍する、ガバナンスが行き届き、環境的に持続可能な組織であることに深くコミットしています。

Infosys (NSE、BSE、NYSE: INFY) がどのように御社の次のナビゲーションをお手伝いできるかは、www.infosys.com をご覧ください。

セーフハーバー

本リリースに記載されている当社の将来的な成長見通し、または将来の財務・業績に関する記述は、1995 年米国私募証券訴訟改革法 (Private Securities Litigation Reform Act of 1995) に基づく「セーフハーバー (免責条項)」の適用を受けることを目的とした将来見通しに関する記述であり、実際の結果や業績がかかる将来見通しに関する記述と大きく異なる可能性のある多くのリス

クや不確実性を伴います。これらの記述に関連するリスクと不確実性には、当社の事業戦略の実行、人材の獲得と維持能力、ハイブリッド・ワークモデルへの移行、経済の不確実性、ジェネレーティブ AI などの技術革新、移民規制の変更を含む複雑で進化する規制環境、当社の ESG ビジョン、当社の資本配分方針、当社の市場での地位、将来の事業、利益率、収益性、流動性、資本資源、買収を含む企業行動、サイバーセキュリティに関する期待に関するリスクと不確実性が含まれますが、これらに限定されるものではありません。将来の見通しに関する記述によって示唆されるものとは異なる実際の結果や成果をもたらす可能性のある重要な要因については、2023 年 3 月 31 日に終了する会計年度の年次報告書（Form 20-F）を含む、当社の米国証券取引委員会への提出書類で詳しく説明されています。これらの提出書類は、www.sec.gov。インフォシスは、証券取引委員会への提出書類や株主への報告書に含まれる記述を含め、書面および口頭による将来の見通しに関する記述を随時追加する可能性があります。当社は、法律で義務付けられている場合を除き、当社によって、または当社を代表して随時行われる将来見通しに関する記述を更新する義務を負いません。

お問い合わせ先：

インフォシス 東京オフィス 安藤

Email : jo_ando@infosys.com